

第18回目の研修内容は、「社会資源探し」です。

社会資源とは、個人や集団が福祉ニーズを充足するための施設、設備、資金、法律、人材、技能などの総称のことをいいます。障がいのある方がより良い状態で自分らしく生活するために活用できるもので、主にフォーマルとインフォーマルの2種類があります。フォーマルは制度に基づく社会資源であり、行政によるサービス、民間組織による公的サービス、医療機関などがあります。また、インフォーマルな社会資源は、親戚、友達、知人、地域、ボランティア、自治会などがあります。社会資源は、困った状況を解決したり、暮らしを支えたりする為にとっても大切なものなのです。

しかし、そんな社会資源について全てを把握している人はどの位いらっしゃるでしょうか？障がい福祉サービス業界で働いている人であっても知らないことが多いと思います。

そこで、今回の研修では、カラーズのスタッフの皆さんにグループに別れてもらい、放課後等デイサービス事業所を利用している子供達やその保護者の方が利用でき、日々の生活や今後の人生の役に立つ様々な社会資源をカテゴリー別に探して頂きました。

振り分けたカテゴリーは、

- ②年金や手帳などの公的サービス
 - ②病院・クリニック・療育機関
 - ②習い事(スポーツ・学習・趣味)
 - ②高校・サポート校・フリースクール
 - ②お出かけ・遊び場・余暇活動
 - ②就職・就労
- の6種類です。

福祉サービスを提供する側が様々な社会資源を知っているのと知らないのでは、サービスの質に大きな差が出ます。例えば自分の業務や専門外の相談や質問だとしても「知りません」「分かりません」で済ませるのではなく、「こんなサービスや施設がありますよ」と言えるだけで、子供達や保護者の方に大きな安心や見通しを提供することが出来ます。

